



# 森ボラ 通信

第76号 2008年9月20日発行

**NPO法人北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 : Fax:241-8308

E-mail : [hshinrinv2002@nifty.com](mailto:hshinrinv2002@nifty.com)

## ■ トピックス

### ◆ エコロジカル間伐 (Ecological thinning From Wikipedia)

間伐とは、森林経営で使われる育林技術であり、木の成長を促進するために企てられる林分操作作業である。樹木が商業レジメの基に管理される場所において、木材としての品質のポテンシャルが低いと見られる周りの木を取り除くことで競争を減らす。自然状態に置かれると樹木は“自動間伐”されるがこの自然淘汰は或る環境下では信頼性がない。

この例としてはビクトリア(オーストラリア)のボックスーアイアンバーク森林林地で見られ、そこでは過去の何世紀もわたり伐採されてきた結果として、高い比率で樹木は幹別れ(萌芽)した2次林(又はコッピス)となっている。

エコロジカル間伐とは、元々の森林間伐が選抜された樹木の生長を促進するための目的であったものに対して、木材生産に焦点を当てたものではなく野生生物の棲家(洞)になることを願ったものである。エコ間伐とはオーストラリアで、ある種のユーカリ林と林地のための景観保全への新しいアプローチと考えられる。

#### エコ間伐の研究

世界中のいろんな場所(例、米国とオーストラリア)で進行中の研究計画は、保全の目的を高い優先度とした森林管理において、今までと別のアプローチを提供することを目指している。各地の森林形態に合った育林技術に基づいてエコ間伐の方法は開発されている。エコ間伐は二つの原則を使って開発されている

1. 競争を減らすための適正本数減らし、
2. 野生生物(例、木材生産でなく)のためにより適した木(選抜)を残す、

エコ間伐研究のひとつの例がビクトリアのボックスーアイアンバークでいろんな間伐と木材搬出の方法が順応的管理下、AEMフレームワークのもとに研究されている。

基本的な目的は野生生物保全に大事な沢山の森林生息地(例、木の洞穴)を創り出す(時間経って)ことである。(記、酒井)

#### \* 順応的管理 (ジュンノウテキカンリ 【英】Adaptive Management [同義] 適応的管理 アダプティブマネジメント)

**解説** 不確実性を伴う対象を取り扱うための考え方・システムで、特に野生生物や生態系の保護管理に用いられる。アダプティブマネジメント(英語のカタカナ読み)または適応的管理と言われる場合もある。

例えば、野生生物保護管理の対象は、(1)基本的な情報が得られない不確実な系であり、(2)絶えず変動し得る非定常系であり、(3)境界がはっきりしない解放系である。そのため、当初の予測がはずれる事態が起こり得ることを、あらかじめ管理システムに組み込み、常にモニタリングを行いながらその結果に合わせて対応を変えるフィードバック管理(順応性)が必須となる。また、施策は多くの場合リスクを伴うので、その説明責任を果たす義務も必要となる。順応性と説明責任を備えた管理を順応的管理と言うが、その実施にあたっては合意形成の努力も必要となる。

この概念は「新・生物多様性国家戦略(2002年3月)」のなかにも自然と共生する社会を築くための理念のひとつとして盛り込まれている。

## ◆ 9月2日 藻岩山幌南の森

藻岩山スキー場の真ん中に12haの森があり、国有林「遊々の森」協定で「幌南の森」となりました。私たちも札幌モーニングロータリークラブの助成を得て遊歩道・看板設置の活動をしています。

今日は6年生88名が樹名板を持ってゴンドラに乗ってやってきました。この斜め切りの名板はこの春に除伐した材を木工の日にカッターで45度に斜め切りして乾燥しておき、幌南小学校に提供したものです。

子供たちは百円ショップで雨に強いペイントを買ってきて仕上げたそうです。発電機を山に持ち込み杭にネジ止めしてあげて、子供たちはトマツ・シラカンバ・ホウノキ・イタヤカエデ・ミズナラ・ハリギリの6樹種18本をPTAと一緒に遊歩道脇に立てました。

もともと、森ボラ会員の山中さんが「樹名は子供たちに書かせたほうがいい」という意見が学校にも届いたもので、木の特徴や分布まで調べて書いてありおそらく日本で一番ナウイ樹名板となりました。

すでに登山者が歩いてきて立ち止まり楽しそうに読んでいました。これは子供たちの勉強のためと先生にも私たちは思っていたのですが、それだけでなく立派な森林保全の啓蒙活動になっていました。これを読んだ人はきっと木を好きになり木を大事にするようになります。生徒のみんなありがとう。卒業してもこの森に来てね。つらいことがあったときは森に癒されに来てね。

子供たちが帰り、急に静かになった森の午後、私たちは風倒木を使って遊歩道横に階段を作りました。この先には別になにもないのですが、この幌南の森のコンセプトは”隠れ家”だそうですからこれを登ってみたいくなる子供がいれば製作者たちの意図、作戦は成功です。（記、酒井）



## ◆ 「澄川の森」 廃バス・廃タンクの撤去が完了

内容物が分からない廃タンク、崩れそうな廃バスが澄川都市環境林に放置され景観上好ましくなく、撤去が出来ないものか検討をしておりましたが、8月21日と26日の2回に分け、回収業者による撤去が実現しました。

撤去跡の埋もれた産業廃棄物等はそのままだけ置きされ整理の問題が残りましたが景観はよくなりました。産廃物の整理後、跡地の森林再生を検討したいと思います。（事務局）



## ■ 今月の幹事会

出席者：荻田・酒井・杉本・高野・津金・西野・棟方・山中・和田

### 1. 連絡事項

- ・「コンサ百年の森」植樹祭が支笏湖国有林で実施されます(10月12日(日))。コンサドーレサポーターとバスに同乗、総勢、約50名の動員を予定しています。植樹本数2,835本(650本/ha・トドマツ・ウダイカンバ・シナノキ・カツラなど)、会員多数の参加で支援したいと思います。(10/11に事前植栽マーキングを実施します、有志募集。)
- ・富士ゼロックス㈱及び端数倶楽部からの助成が確定しました。
- ・札幌市の「森林ボランティア団体」登録を完了しました。
- ・新会員の紹介  
西村佳一郎さん(8/25付) 手稲区・男・9/13 リンゴ園に初参加。  
コメント：自然とのふれあいを通し、何かお手伝いが出来ればと考えております。
- ・平成20年度「道民森づくりネットワークの集い」パンフレットをボラ通に同封しました。今年度はポスターセッションと共に薪割り機のデモンストレーションを会場で実施します、多数の参加・お手伝いをお願いします。  
日程：2008・10・25(土)雨天決行、道庁赤レンガ前、10:00～16:00。  
ポスターセッションと薪割り木デモの実施(11:00～15:30)。
- ・澄川活動の10月22-23日は「炭焼き」と「ごみ拾い」も平行して実施します、多数の参加をお願いします。
- ・りんご園支援活動は秋の袋はずしと収穫期に入っております。台風もなく、収穫が例年になく早まっています。活動日以外でも支援をお願いします。

(事務局)

## ■ おしらせ

### ◆ 会員多数の参加をお願いします

#### ・「コンサ百年の森づくり」植樹祭(10月12日(日))

集合場所：市営地下鉄南北線「真駒内」駅前8時30分(時間厳守)

コンサドーレマイクロバスで支笏湖に向かいます(食事・飲料各自準備)。

#### ・「芸術の森フリーマーケット」の出展決定(10月5日(日))

芸術の森事務局との連絡が取れず開催が危ぶまれておりました恒例フリーマーケットは以下の変更をして実施します。多数の参加・来場をお待ちします。

日時：10月5日(日)10:00～16:00

場所：札幌場所ファクトリ

(中央・北2・東4)

右図4・(□枠部分)

(9:00から搬入作業)雨天中止。



## ■ 活動履歴

活動日	行 事	参加人数	活動内容
9月17日(水)	りんご園	11名	葉摘み
9月13日(土)	りんご園	9名	葉摘み
9月11日(木)	澄川	14名	除伐・木工
9月10日(水)	りんご園	9名	葉摘み・袋はずし
9月9日(火)	アイケンの森	15名	薪づくり・札幌工科専門学校生訓練(16+2)(カラマツ間伐実習)
9月8日(月)	幹事会	9名	
9月6日(土)	りんご園	9名	葉摘み
9月5日(金)	アイケンの森	14名	除間伐・薪づくり
9月4日(木)	りんご園	10名	葉摘み
9月3日(水)	りんご園	4名	葉摘み
9月2日(火)	幌南の森	7名	遊歩道整備
9月1日(月)	澄川	13名	除間伐
8月29日(金)	りんご園	5名	葉摘み・袋はずし
	幌南の森	8名	遊歩道整備・銘板付け(4年生)
8月28日(木)	りんご園	8名	葉摘み・袋はずし
8月25日(月)	杉本邸	11名	木工
8月21日(木)	アイケンの森	16名	除間伐・薪づくり

## ■ ひとこま

### ◆ 9月4日 りんご葉摘み 参加者10名

春の摘花作業以来の暫らく振りの参加となりました。前日のすさまじい雷と雨が嘘の様に晴渡り、すっきりと澄み切った青空の秋晴れとなった。空の蒼さとたわわに実った林檎のコントラストの素晴らしさ、こういう自然の中で元気に仕事出来る事を幸せに感じながらの1日でした。

この日の作業は葉摘み。林檎により太陽の恩恵を増してもらおう為の作業です。男性陣は脚立に登って高い上の枝先の作業、私は立っただけでも手の届く下枝の作業でしたが場所によっては傾斜がきつく、一歩の高低差が30cm程はありそうな所もあつたりで、手が届きそうで届かない、首の痛くなる作業も。

「富士」、「津軽」、「マッカム」、他にいろいろな種類が沢山で覚えられない。葉摘みは種類によって簡単に取れるものから、取れにくい種類もあり、ああ〜「ポトツ」。大切な商品を落としてしまったりした失敗もありましたが秋の収穫を楽しみに作業を進めました。

(追伸、8月末で虎谷さんがアップル山荘を退去され家の中はガランとしている。自宅に戻られてから体調を崩され、現在入院加療中との事、早い回復をお祈りしています)。(記、西野澄)

